

事務局：〒980-0811
仙台市青葉区一番町 1-11-25
仙台聖泉キリスト教会内
Tel：022-266-8773
郵便振替：02240-2-14594
「世の光」宮城放送伝道協力会
編集係：茂永頼子

世の光みやぎ

News letter



イースタースペシャル番組 2024

テーマ「〈主イエスの受難と復活〉きほんの“き”」



近年、日本でも〈イースター〉は知られるようになってきました。“春のお祭り”としての認知度は上がる一方、本来の「主の復活を記念する」という意味での〈イースター〉を知る方は多くないように思います。そこで、今回は基本に立ち返って、聖書が示す「主イエスの十字架と復活」について各番組でわかりやすくお伝えします。3月23日と30日にお届けします。

イースターQ&A『受難週スペシャル』 3月23日(土)

教会のシンボルマークといえば、「十字架」ですが、それはむごたらしい残酷な処刑道具です。しかし、ある時点から「十字架」はまったく違う意味を持つようになったといます。当時の宗教指導者たちにねたまれ、不当な裁判にかけられたイエス・キリスト。最終的にローマ総督ピラトのもとに連れて行かれましたが、イエスを死刑にする「罪」など見つけることが出来ませんでした。そこで、ピラトは「有名な凶悪犯であったバラバとイエスとどちらを釈放してほしいのか」と群衆に問いかけましたが、ピラトの思惑とは逆に、当時の宗教指導者たちは群衆を説きつけて、「バラバを解放しろ、イエスを死刑に！」と叫ばせたのです。



総督ピラトは、むち打たれ、頭から血を流すみじめなイエスを群衆の前に連れ出しました。そしてこう言ったのです。「見よ、この人を」と。実はこのピラトが奇しくも言った「見よ、この人を」ということこそ、私たち一人ひとりに問われている言葉でもあるのです。十字架から復活へ……。関根牧師がわかりやすくお話してくださいませ。

世の光イースター礼拝「ハッピー・イースター」 3月30日(土)

お話：水谷 潔先生



協力教会から 55,000 円の献金がささげられました。皆様の尊いささげものとお祈りによって支えて下さっていることを心から感謝いたします。

(順不同、敬称略)
栗原聖書バプテスト教会
塩釜聖書バプテスト教会(2ヶ月分)
仙台新生キリスト教会
古川福音自由教会
仙台国見教会

2024年1月

リスナーの声

・いつも番組聴いております。つらい事、苦しい事の日々においても誠実に生きる事の大切さを教えられます。

・1月27日の放送、興味深く拝聴しました。ヨブ記を読むとヨブの気持ち、友の事、ヨブの妻の事、、、そして神様の御言葉。奥が深く、もっと取り上げて欲しい聖書箇所です。